

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和4年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市芸術文化振興財団
-----	---------------------

所管課	市民文化スポーツ局 文化企画課
-----	-----------------

団体に対するミッション
市民の芸術文化の振興に関する事業や埋蔵文化財の調査、研究及び保護等を行い、市民生活の向上と市民の豊かな文化芸術の創造に寄与する。

行財政改革大綱における見直し内容
市民に様々な舞台芸術を提供する公演事業については、質と量を維持しながら、収益向上策の工夫や事業形態の見直し等により、効率的な運営に努める。 また、同団体が管理運営する施設について、民間でできるものはないかという視点で精査する。一方で、市直営の文化施設のうち、民間で担えない部門については、市に代わって新たな担い手となれるよう、環境の整備を行う。

ミッションに基づく中期計画								
3~5年後に目指す状態	(1)市民の多様な文化芸術ニーズに対応し、様々な公演事業や育成事業の実施及び幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興に寄与していく。 (2)文化芸術施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査、研究、保存等を行なう。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H30	R1	R2	R3	R4		R5	R6
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
<観る・聴く> 公演事業の入場率 ①北九州芸術劇場 ②響ホール	①88% ②64.5%	①90% ②76.6%	①78% ②70.7%	①78% ②59%	①87% ②67.5%	①87% ②76.3%	①87% ②68%	①87% ②68%
<観る・聴く> 公演事業の満足度 ①北九州芸術劇場 ②響ホール	—	①86% ②99%	①91% ②98.7%	①95% ②98.6%	①80% ②80%	①92.9% ②99.1%	①80% ②80%	①80% ②80%
<支える> 施設稼働率 北九州芸術劇場大ホール	85%	76%	29%	60%	75%	68%	75%	75%

ミッションの遂行状況の評価（令和4年度）			
団体における評価	令和4年度も、市民に対し優れた文化芸術に接する機会や文化活動の場を提供するため、一部事業の企画変更や公演中止などがありながらも、感染対策や各種媒体を活用した広報などの様々な工夫を行った。また、オリジナルの舞台芸術作品の制作・上演による全国への発信や、質の高い音楽の提供、さらに文化芸術の普及のための人材育成や教育事業に取り組むなど、地域の劇場をけん引するリーダー的役割を担った。	市の評価	公演事業の入場率と、芸術劇場中劇場を除く施設稼働率が前年度を上回ったことは評価できる。また、施設利用者に対するきめ細やかなサポート等により、公演事業の満足度について高い水準を維持している。 そのほか、質の高い舞台芸術や音楽を提供するとともに、人材育成や教育事業を積極的に展開し、市民の文化芸術に接する機会の充実を図ったことは評価に値する。
	今後の課題及び見直し内容（案）		引き続き、ミッションや地域のニーズに沿って市民に様々な文化芸術に接する機会や市民活動の場を提供するなど、市民が心豊かに生活できるよう文化芸術活動の振興に取り組んでいく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	特に事業内容を精査する団体
公演の質と量を維持しながら効率的な運営を行い、優れた公演事業の提供など文化芸術の振興を図った。次年度以降も演目内容を検討の上、事業展開を図っていく。 ◆効率的な運営の効果：感染対策の徹底による安心して来場できる環境づくり、チケットレス入場やプレイガイドでのキャッシュレス決済の導入、市内その他施設や団体との連携事業の実施 ◆優れた公演の実施：劇場 演出家長塚圭史の初のミュージカル作品「夜の女たち」上演、市内の交通機関と連携したモノレール公演「きみをさがして」上演 等	

ミッションに基づく具体的取組み（令和4年度）											
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）						
1	<p>【発信力の高い芸術・文化の振興】 北九州芸術劇場や響ホールを活用し、発信力の高い文化事業を実施することで、北九州ブランドの発信を目指す。</p>					<p><劇場事業> 質の高い劇場作品を創造し、北九州ブランドを発信する。 （海外の表現者や劇場と共同で作品を制作し、世界に発信する。国内外で活躍する表現者が市民や地域の表現者とともに北九州を題材とした作品を制作する。）</p> <p><音楽事業> 響ホールの特質を活かし、著名な演奏家の出演など質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。（響ホール室内合奏団等、地元演奏家と響ホールとの共同企画を実施する。音楽祭プロデュース企画公演を全国に発信する。）</p>					
	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	
	<創る> 創造事業数										
①	北九州芸術劇場	3	4	4	4	①	プロデュース公演、市民共同企画等のオリジナル作品の制作	東アジア文化都市2020北九州「詩、踊る」ほか全3事業計474人	北九州芸術劇場クリエイション・シリーズ「まつわる紐、ほどけば風」ほか全4事業1,149人	4事業・2,000人	北九州芸術劇場×市民共同創作劇「君といつまでも〜Re:北九州の記憶〜」ほか全4事業・1,902人
②	響ホール※()内は音楽祭	6(5)	7(4)	7(5)	6(5) ※1公演中止	②	フェスティバル、オリジナル企画、音楽祭企画事業等の実施	響ホールフェスティバル2020（新型コロナウイルス感染症拡大防止のためR3年度に延期）	響ホールフェスティバル2021 2公演計502人	響ホールオリジナル企画2公演計1,000人	響ホールオリジナル企画1公演598人（1公演は出演者コロナ感染につき直前に中止）
2	<p>【芸術・文化の担い手の育成】 将来の芸術・文化を担う子どもの豊かな心や感性・創造性を育むため、子どもたちが身近に伝統文化や芸術・文化にふれる機会の充実を目指す。芸術家やコーディネーターの育成、あるいは芸術・文化の鑑賞者としての素養を高めるなど、幅広い芸術・文化の担い手の育成を目指す。</p>					<p><劇場事業> 初めて舞台芸術に触れる人や専門家を目指す人など、様々なレベルに応じた事業や舞台芸術の体験、アウトリーチ事業を通じて、地域を支える人材を育成する。</p> <p><音楽事業> 主催コンサートの出演者により、市内幼稚園・小学校・市民センター等へのアウトリーチ（地域訪問コンサート、鑑賞教室等）を実施する。 地域の音楽文化の担い手の育成・継承及び演奏家の育成と活躍の場を広げる事業を実施する。（北九州市ジュニアオーケストラ、北九州市少年少女合唱団の支援）</p>					
	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	
	<育つ> 学芸事業及び育成事業数										
①	北九州芸術劇場（演劇事業）	9	10	9	8	①	高校生のための演劇塾、劇場塾、演劇ワークショップ、アウトリーチ事業の実施	キタQアーティストふれあいプログラム実施回数14回	キタQアーティストふれあいプログラム実施回数36回、他全10事業848人	キタQアーティストふれあいプログラム実施回数30回	キタQアーティストふれあいプログラム実施回数35回
②	響ホール（音楽事業）	7	9	11	11	②	北九州市ジュニアオーケストラ、北九州市少年少女合唱団への支援、アウトリーチ事業の実施	ジュニアオーケストラ定期演奏会・アウトリーチ等1,224人	ジュニアオーケストラ定期演奏会・アウトリーチ等1,582人	ジュニアオーケストラ定期演奏会・アウトリーチ等1,500人	ジュニアオーケストラ定期演奏会・アウトリーチ等1,584人

目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）									
<p>【市民が芸術・文化に接する機会の拡大】 市民が、優れた芸術・文化を享受する機会の提供を目的とした多様な取り組みを行う。</p>					<p><劇場事業> 幅広いラインナップの充実を図るため、エンターテインメント性が高く集客力のある作品の招へい、提携、協力公演を行い、市民に良質な公演を提供する。（旬な表現者の作品を招へいし、話題を集める作品を企画する）</p> <p><音楽事業> 海外オーケストラや国内外の著名な演奏家による質の高い演奏会、ジャンル拡大・多様化を図る演奏会を開催する。</p> <p><広報事業> 情報誌の発行により文化情報を提供する。</p>									
					成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
					<p><観る・聴く> 公演事業の入場率</p>					<p>① 話題性や集客力のある演目の実施</p>				
① 北九州芸術劇場	78%	78%	87%	87%	①	「ドクター」(作) ロバート・アイク、演出：栗山民也 入場率：63%	東京成人演劇部 vol.21(命、キガ長スW)(作・演出：松尾スズキ) 入場率：90%	東京成人演劇部 vol.21(命、キガ長スW)(作・演出：松尾スズキ) 入場率：84%						
② 響ホール	70.7%	59.0%	67.5%	76.3%	②	「日本昔ばなしのうた」(演出：振付 近藤良平・山口夏絵) 入場率83%	「近松心中物語」(作：秋元松代、演出：長塚圭史) 入場率：94%	東京デスロック「再生」(作・演出 多田淳之介) 入場率：80%	東京デスロック「再生」(作・演出 多田淳之介) 入場率：70%					
<p><観る・聴く> 公演事業の満足度</p>					<p>③ 広報活動の実施</p>									
① 北九州芸術劇場	91%	95%	80%	92.9%	③	情報誌 CulCul(かるかる) 隔月 10,000部発行	情報誌 CulCul(かるかる) 隔月 10,000部発行	情報誌 CulCul(かるかる) 隔月 10,000部発行	情報誌 CulCul(かるかる) 隔月 10,000部発行					
② 響ホール	98.7%	98.6%	80%	99.1%										
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）									
<p>【市民の芸術・文化活動の促進】 市民が行う芸術・文化活動への支援・協働や文化施設の運営を通して芸術・文化に対して場の提供を進めるなど、市民が活動しやすい環境づくりを進める。</p>					<p><施設利用> 安心して催しを開催できるよう総合的なアドバイスやサポートを行う。（施設の使用申込みから開催日までのケア、安全性、非常時の対応説明など）</p> <p><劇場事業> 地域劇団等の活動を支援する。（作品創造及び上演の環境づくりの支援）</p> <p><音楽事業> 市民の音楽活動を支援する。 コーラスフェスティバル等を実施する。</p>									
					成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
					<p><支える> ・施設稼働率</p>					<p>① 施設利用者に対するアドバイスやサポートを行い、利便性の向上を図る</p>				
① 芸術劇場 大ホール	29%	60%	75%	68%	①	催し内容のアドバイスや非常時の対応説明など、利用者が安心して催しを開催できるよう、施設の使用申込みから当日までのケア、サポートを実施した。	利用者の立場に立った提案やアドバイスを行い多様な催しの開催を総合的にサポートし、またコロナ禍においても安心して安全な利用となるよう支援した。	高い満足度を維持するため、より一層の施設利用者へのアドバイス、サポート体制の充実を図る。	利用者の立場に立った提案やアドバイスを行い安心して催しを開催できるよう、利用検討段階から当日まで総合的にサポートした。					
② 同劇場 中劇場	32%	71%	70%	65%	②	創造事業等において、地元俳優・作家等を積極的に活用したほか、活動支援を行った。	地元の人材の積極的な活用や活動支援、地元劇団との提携公演などのほか、市内団体の「東アジア文化都市」関連事業を「協力事業」として支援した。	創造事業等において、地元俳優・作家等を積極的に活用する。	創造事業等において地元俳優・作家等を積極的に活用したほか、地元劇団との提携公演の実施、活動支援を行った。					
③ 同劇場 小劇場	35%	57%	80%	66%	③	市民による文化活動発表の場の提供や地元演奏家の公演企画等の支援を行った。	市民による文化活動発表の場の提供や地元演奏家の公演企画等の支援を行った。	市民による文化活動発表の場の提供や地元演奏家の公演企画等の支援を行う。	市民による文化活動発表の場の提供や地元演奏家の公演企画等の支援を行った。					
④ 響ホール	38%	56%	60.5%	56.3%										
⑤ 大手町練習場	42%	27%	56.2%	38.8%										
<p>・回収した主催者アンケートの結果（満足度）</p>					<p>② 地域劇団等が活動しやすいよう支援を行う</p>									
⑥ 北九州芸術劇場	100%	99%	97%	99%										
⑦ 響ホール	100%	100%	97%	97.9%										
<p>・主催者アンケートの回収率</p>					<p>③ 市民や民間団体が実施する音楽事業への支援充実を図る</p>									
⑧ 北九州芸術劇場	80%	79%	70%	75%										
⑨ 響ホール	67%	80%	65%	100%										

目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）					
<p>【文化財の保存・継承】 郷土の歴史と文化に対する理解を深め、郷土愛を育むために地域文化の保存・継承を目指す。埋蔵文化財の調査・研究を通して得られた成果を市民共通の財産として保存継承するとともに、遺産の活用を行う。</p>					<p>①埋蔵文化財発掘調査事業（市受託事業）を円滑に実施する。 ②埋蔵文化財調査報告書の刊行や埋蔵文化財に関する普及活動（遺跡発掘報告会など）を実施する。 ③埋蔵文化財センターの維持管理を実施する。（定期的な収蔵品・展示品の入れ替えなど）</p>					
5	成果指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標	R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	埋蔵文化財発掘調査事業（市受託事業）の適正な実施	市の委託を受け、適正に調査業務を実施した。	市の委託を受け、適正に調査業務を実施した。	市の委託を受け適正な調査業務の実施	市の委託を受け、適正に調査業務を実施した。	埋蔵文化財発掘調査事業（市受託事業）の適正な実施	報告書の刊行や、普及活動（速報展）を実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発掘報告会や市民向け講座は中止。	報告書の刊行や、普及活動（速報展）を実施した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、発掘報告会や市民向け講座は中止。	報告書の刊行や、速報展等の普及活動の実施	報告書の刊行や、普及活動（速報展、発掘報告会）を実施した。